

討議

国の責任で「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願

請願の趣旨

「少人数学級」を求める保護者、教育関係者、自治体首長、国民の切実な声の高まりと運動により、国は40年ぶりに小学校を段階的に5年間で35人学級にすることとしている。このことは、子どもたちにとっても、保護者、教育関係者にとっても、待ち望まれた画期的な出来事です。35人学級完全実施まで5年間もかかる。そして、①今の2年生以上は対象にならない事、②中学校には適用されない事、③多くの保護者や教職員の声は「30人学級」「20人学級」なのに35人学級であることなど、規模もスピードも不十分である。未だ終息を見通せない新型コロナ感染から子どもたちを守るためにも、学校規模の縮小は喫緊の課題となる。コロナ禍の中で、「20人学級」を展望した少人数学級への前進は、圧倒的多数の保護者・教職員・地域住民の強い願いです。国が責任を持って少人数学級の前進とそのための教職員定数改善を行うことが極めて重要である。

討論

反対

35人学級の効果を検証することが必要

豊瀬 和久議員

- ① 20人学級は、教職員や教室の数が増え、学校施設の改修という根本的問題である点。
- ② 優秀な教員を確保するかが、成否を左右する。処遇改善やICTの活用など、業務削減に向けて検討すべき課題が山積な点。
- ③ 中学校の少人数学級化と、小学校のさらなる少人数学級化は、今回国の定めた35人学級の効果を検証する事が必要な点。

討論

賛成

少人数学級の推進は公益に値し、福祉に寄与する

荒木 俊彦議員

- ① 少人数学級の推進は公益に値し、社会一般の福祉に寄与する点。
- ② 教職員の確保、教室増の為、国が予算確保する為の請願という点。
- ③ 少子化による児童の減少、諸外国の状況を考えれば実現すべきと考える点。

次回定例会は

6月8日(火)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 6月8日(火)～17日(木) (予定)

会場 オークスプラザ 2階 ふれあいホール

議会広報編集特別委員会

議長…桐原 則雄

発行責任者

大村 裕一郎

田代 元氣

時松 智弘

委員

豊瀬 和久

副委員長

三宮 美香

委員長

編集後記

無投票ではありますが、新たな町議会議員が選出され、議会だより編集委員も新しくなり表紙をリニューアルしました。ご意見、ご感想をお待ちしています。

前任の委員が積み上げてきた実績と議会だよりにかける熱い思いを引き継ぎ、町民の皆さまに楽しみに読んでいただけるよう一路邁進いたします。

庁舎も新しくなりますので、多くの皆さまの傍聴をお待ちしております。

委員長 三宮 美香

令和3年5月15日 第95号 発行／熊本県菊池郡大津町議会
編集／議会広報編集特別委員会 印刷／創文印刷

〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

↓ 皆さまの声をお寄せください！

切り取ってお出しくささい

郵便はがき

料金受取人払郵便

8 6 9 1 2 9 0

大津局
承認
503

(受取人)

大津町大字大津1233番地

大津町役場 議会事務局

議会広報編集特別委員会 行

差出有効期間
2022年5月14
日まで
(印を揃らずにお出しくささい)



ふりがな
ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく際に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はこちらにご記入ください。

□□□-□□□□

ご住所

お電話 () - () - ()

SD
FONT
奥やすぐ読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

この議会だよりは
リサイクル推進のため
再生紙を利用しています。